



# 学校図書館だより6月

令和2年6月5日  
荒川区立第三中学校  
校長 小柴 憲一  
学校司書 西岡 薫



## ようこそ三中図書館へ



ご入学・ご進級おめでとうございます。今年は、紫陽花の美しい季節を迎えての新学期となりましたが、いよいよ学校生活が始まりました。三中図書館は、読書センターとして、学習センターとして、また心の癒しの場として、皆さんの中学校生活が豊かになるよう支えていきたいと思っております。今年度も図書館をたくさん利用してください。朝読書も始まりますので、いつでも自分の傍らに本があるよう学校図書館を活用してください。昨年度に引き続き、学校司書は西岡薫です。学校図書館のこと、本のこと、質問があるときは何でも聞いてください。

### ～分散登校期間中の学校図書館利用について～

6月5日（金）～6月13日（土）



### リクエスト用紙を活用して、本を借りよう！

- ・分散登校中は、感染予防により、休み時間、放課後の解放は行いません。
- ・リクエスト用紙による本の貸し出しを行います。

リクエストは1人1回1冊まで ただし読み終えて返却した場合再度リクエストできます。  
貸し出し期間 2週間

※本を借りたい生徒は、担任の先生からリクエスト用紙をもらい記入をして、担任の先生へ渡してください。三中図書館に本がある場合は翌日に、担任の先生を通じて本を渡します。本の返却は担任の先生に渡してください。

※三中にある本かどうか分からない、本の名前、作者が分からない場合でも、対応して返信をしますので、わかる範囲で記入してくださいね。図書館だよりで紹介されている本、荒川図書館推薦リスト「本との出会い」も参考にしてください。また、タブレットが使用できればタブレットにある〈本を探す〉のアイコンをクリックすると三中図書館に所蔵している本を検索することもできます。

○一度手に取った本、返却された本は、感染予防のためブックトラックに別置き消毒作業を行い、24時間は同じ本は貸し出しを行いません（媒体が紙の場合24時間経過でウィルス消失の目安）

☆分散登校期間後の6月15日（月）以降からの図書館利用については、状況に応じてまた改めてお知らせいたします。

（裏面へ 課題図書を紹介 三生によく読まれた本の紹介）

## 2020年度 第66回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

### 「天使のにもつ」 いたう みく 著 童心社



「頼んでまでして、なんで仕事しなきゃなんないの？しかもタダで」そんな中学2年・斗羽風汰が職場体験先に選んだのは、保育園だった。「子どもと遊んでりゃいいってこと？ありかも」本当に大丈夫なのか、斗羽風汰。職場体験を通じて、周りの人達との交流から、今まで気づかなかったことを考えていく風汰の5日間の成長物語。



### 「11番目の取引」

アリサ・ホリングスタワース作 もりうち すみこ 訳 鈴木出版

アフガニスタン難民のサミと祖父の生きる術であり、心の拠り所だった伝統楽器ルバーブが奪われた。買い戻すには1か月以内に700ドルが必要だ。サミは友だちの助けを借りて物々交換を始めるが…。希望と友情の物語。

### 「平和のバトン」 広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶 弓狩 匡純 著 くもん出版



原爆が投下されてから、75年近くになろうとしています。やがて、被爆者がこの世からいなくなれば、記憶は失われていくでしょう。「このままでは、原爆のことが忘れられてしまう」と、勇気を振りしぼって話しはじめた被爆者の声をそして見た光景を、美術を学ぶ高校生が絵にして記録する「次世代と描く原爆の絵」プロジェクト。戦争や原爆を見つめ直していくさまを綿密に取材して描いたノンフィクション。

昨年度三中生に読まれた本ベスト10の図書から紹介  この本もリクエストできます。

書名	著者	出版社	紹介文
いなくなれ群青	河野 裕	新潮文庫	真辺由宇との、出会いは、僕の高校生活を一変させた。連続落書き事件。「階段島」シリーズ第1作。
5分後に 超ハッピーエンド	エプリスタ編	河出書房新社	三中生に人気の5分後シリーズ。最高の結末の超短編小説9作を収録。
鹿の王 上・下巻	上橋菜穂子	角川書店	帝国から故郷を守るため、戦いを繰り広げたヴァンは岩塩鉱に囚われていた。ある夜、犬たちが岩塩鉱を襲い、謎の病が発生する。
浜村渚の計算ノート	青柳碧人	講談社文庫	義務教育から数学が消えた事に異を唱えたテロ組織が次々と事件を起こす。大人を悩ます難事件も“数学少女”が見事解決する!
崩れる脳を抱きしめて	知念実希人	実業之日本社	研修医の碓氷は、脳腫瘍を患う女性・ユカリと出会い心を通わせる。碓氷に、ユカリの死の知らせが届く。彼女はなぜ死んだのか？ 幻だったのか？ 明かされる衝撃の真実!?
本を守ろうとする猫の話	夏川草介	小学館	高校生の夏木林太郎は、祖父を突然亡くした。祖父が営んでいた古書店をたたみ、叔母に引き取られることになった林太郎の前に、人間の言葉を話すトラネコが現れ…。

